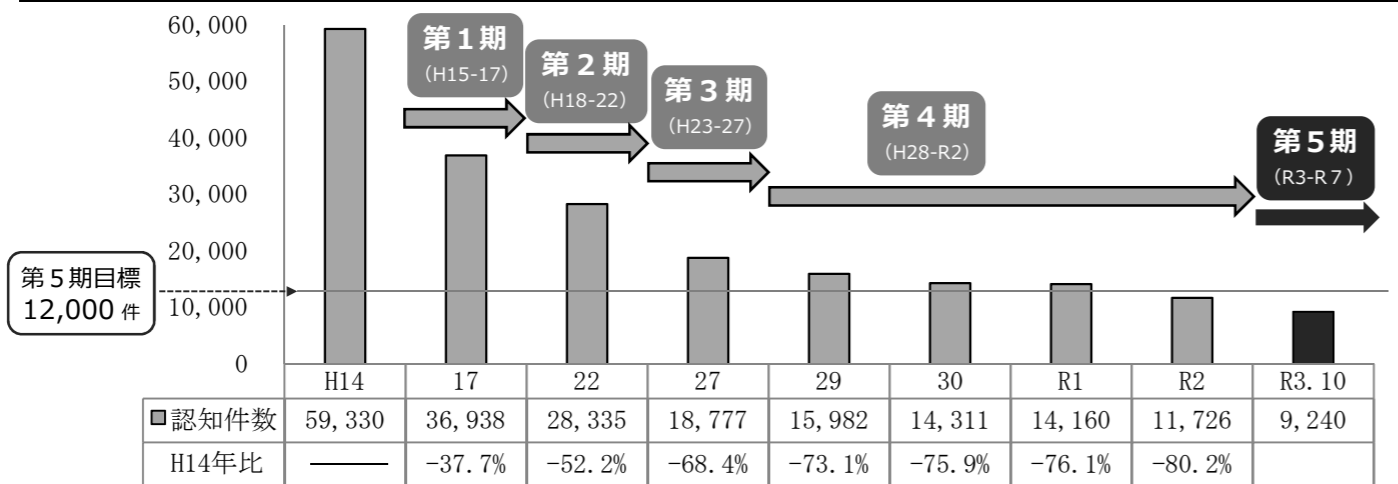


# 広島県内における犯罪情勢等 (令和3年10月末現在)

「減らそう犯罪」第5期  
ひろしまアクション・プラン  
令和3(2021)年～令和7(2025)年

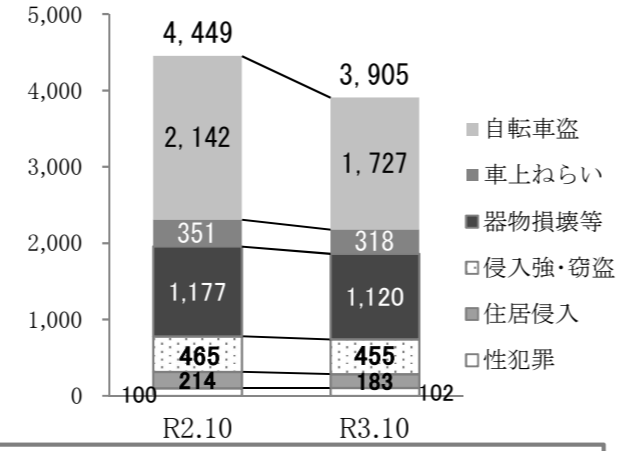
## 1 刑法犯認知件数 (推進指標: 年間 12,000 件以下)



刑法犯認知件数は、平成15年以降、アクション・プランに掲げた指標を達成しながら減少を続け、昨年(第4期最終年)は、目標(17,000件以下)を達成し、平成14年(運動開始前年)比で、80.2%減少しました。本年10月末現在9,240件で、前年同期比では560件減少(減少率-5.7%)しています。

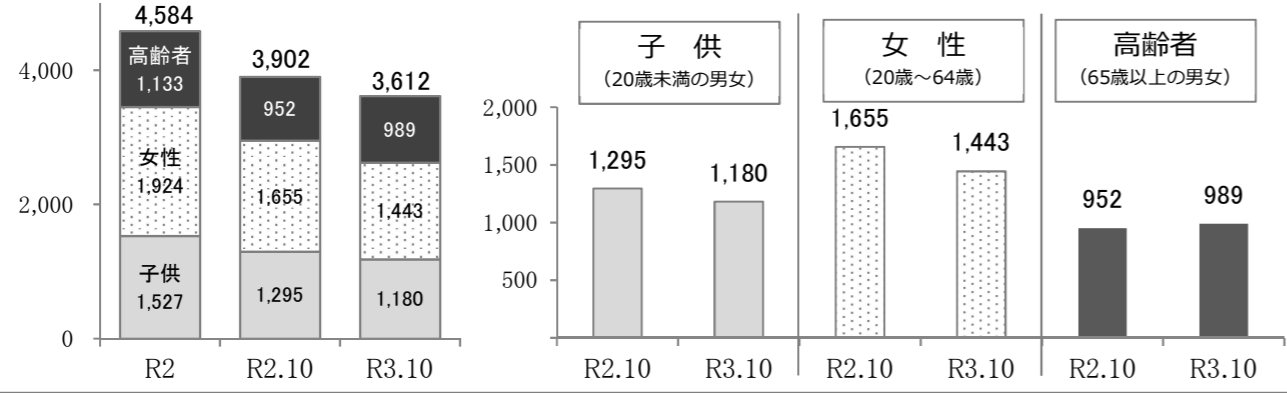
## 2 不安に感じる犯罪の認知件数 (取組指標: 年間 5,500 件以下)

区分	H14	R2	増減率	R3.10
不安に感じる犯罪	30,134	5,260	-82.5%	3,905
自転車盗	10,806	2,503	-76.8%	1,727
車上ねらい	5,244	418	-92.0%	318
器物損壊等	5,744	1,398	-75.7%	1,120
侵入強盗	46	5	-89.1%	4
侵入窃盗	7,139	561	-92.1%	451
住居侵入	799	260	-67.5%	183
強姦性交等	64	28	-56.3%	32
強制わいせつ	292	87	-70.2%	70



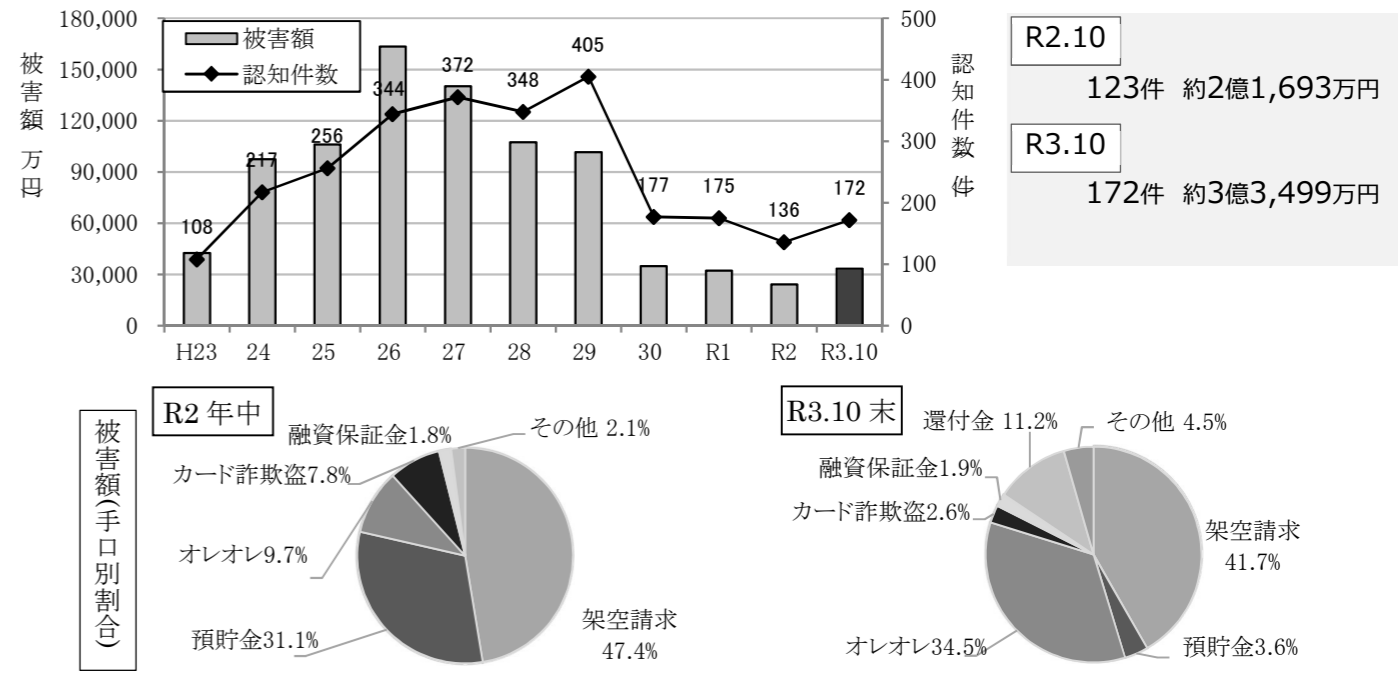
第5期アクション・プランでは、これまでの「身近な犯罪」14罪種から「不安に感じる犯罪」8罪種を抽出し、重点項目としました。本年10月末現在、前年同期比で544件減少(減少率-12.2%)しています。

## 3 子供・女性・高齢者が被害者となる刑法犯認知件数 (取組指標: 年間 4,800 件以下)



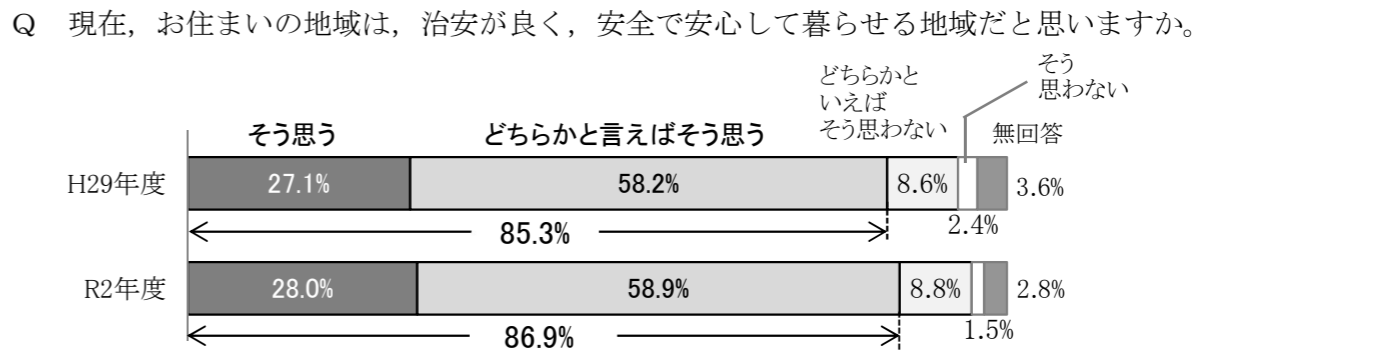
昨年は、子供・女性・高齢者いずれの被害も前年比で減少しました。本年は10月末現在、前年同期比で290件減少(減少率-7.4%)していますが、高齢者の被害が37件増加(増加率3.9%)しています。

## 4 特殊詐欺の年間被害総額等 (取組指標: 年間 2 億円以下)



特殊詐欺の認知件数・被害額とも、昨年まで減少傾向にありました。本年10月末現在、前年同期比で、被害額・認知件数とも増加に転じ、被害額は、すでに昨年の年間被害総額約2億4千万円を超えています。被害額のうち、「オレオレ詐欺」が昨年に比べ、急増しており、また、昨年発生のない「還付金詐欺」も多くなっています。

## 5 体感治安 (推進指標: 治安良好と感じる県民の割合 90%以上)



令和2年度の県政世論調査(3年ごとに実施)の結果では、居住地域の体感治安について肯定的な回答は86.9%と前回調査から1.6ポイント増加しました。また、安全・安心な生活を送るために重点的に取り組んで欲しい施策では、「防犯カメラや防犯灯の設置促進」「子供を犯罪被害から守るための対策」が高くなっています。

## 6 フィルタリング(スマートフォン)の使用率 (取組指標: 37%以上)

～子供のスマートフォン利用に係る保護者の管理状況～

区分	管理している		管理していない (「分からない」含む)
	うち、フィルタリングを使用している		
広島県(令和3年度)	81.7%	29.2%	18.3%
全国(令和2年度)	86.1%	40.6%	13.9%

令和3年度の調査結果では、子供がスマートフォンでインターネットを利用する青少年の保護者(10～17歳の子供と同居する保護者)のうち、フィルタリングを利用している割合は29.2%でした。